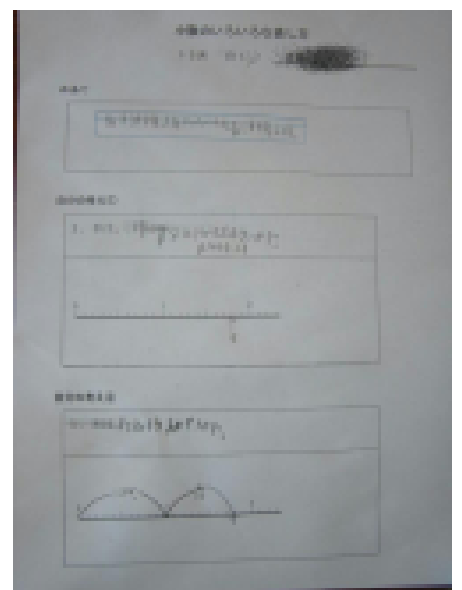
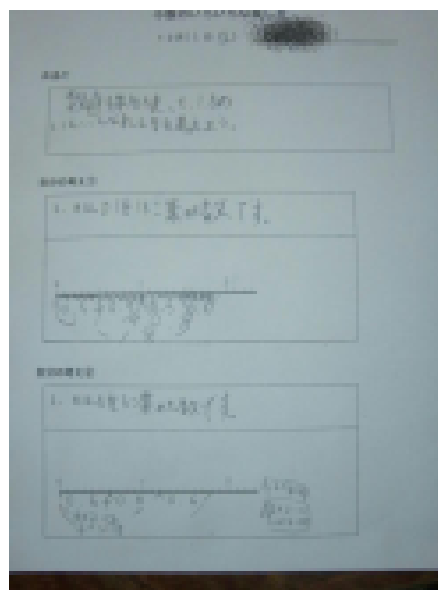
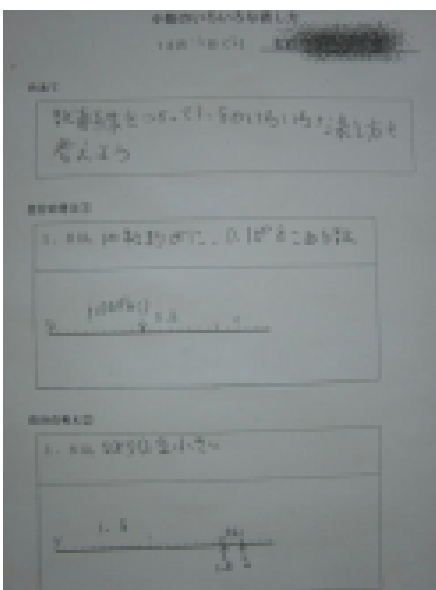
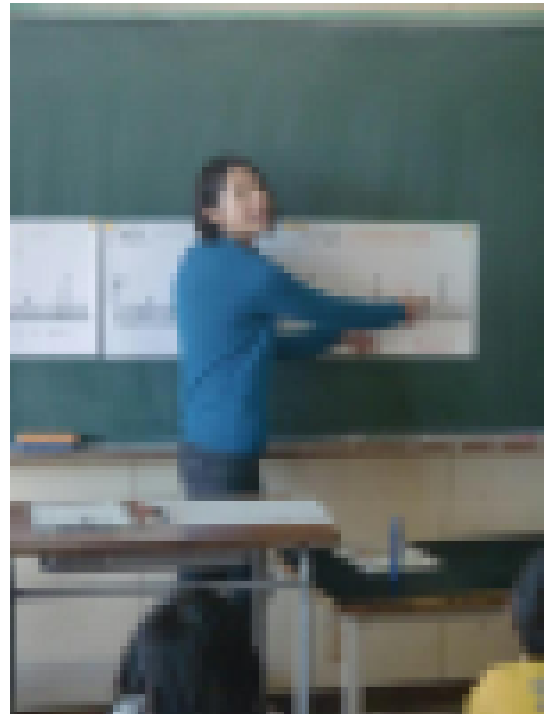


# 学びの実感

ことばのちからは 生きる力

## 小数「はしたの大きさの表し方を考えよう」

- ◎先週の13日の金曜日に瑞季先生が中学年部最後の「学年部授業」に取り組みました。
- ◎教室に入ってまず驚いたことは「子供たちの姿勢の良さ」でした。『目と耳と心で聞く』ということは、まさにこのことだと感じました。子供たちの今回の授業に対する熱いものを感じることができました。
- ◎初任とか思えぬ「落ち着きぶり。冷静沈着！」も見事でした。
- ◎各授業の成果と課題のリレーを受けて、授業を進めていると感じました。
  - ・課題の見通しを持つ時。1, 8に入る前に18で何度も確認していました。次の自力解決に十分役立つ取組だったと思います。
  - ・ペア学習時の相互評価。赤鉛筆で◎○△を書きました。だれからの評価なのか、氏名も書かせました。
  - ・自分の考えをしっかりと書けていました。以下の写真参照のこと。
  - ・全体発表の際。知春さんの発表を聞いた遥也さんが「ん～、その手があったか！」と感心する一幕。友達の発表を真剣に聞き、自分の考えとの違いをしっかりと理解できたからこそその一言だったともいます。
  - ・残り4分で適用問題に取り組みました。「本時の評価をする上で大切なものである」という奥田先生の指導も実践できました。

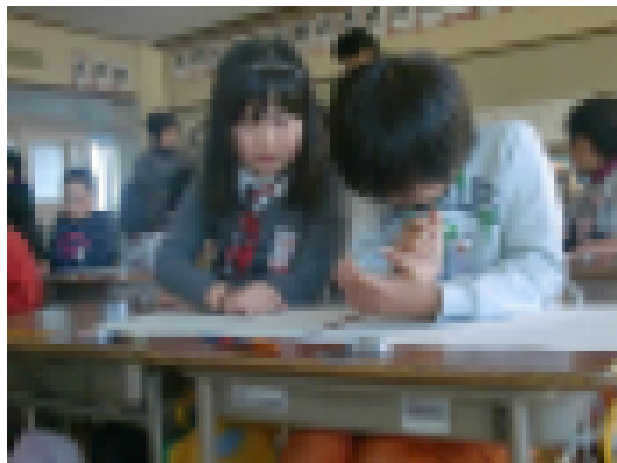


### 【事後検討会】

#### 〈自評〉

- ・小数の学習の後半の単元でした。・整数18での学習を進めて、次の1, 8の学習に入ってみました。

- ・隣のクラスを借りて事前授業をやりました。1組では、18についてあまり時間を掛けなかったため、自力解決の段階で自由な発想が見られました。2組では、今回18を丁寧に考えました。そのためか自由な発想は少なかったものの、教師の意図しているものはすべて出ました。見通しを持つ段階でどの程度取り組めばよいかは課題です。
- ・数直線が難しかったかもしれません。
- ・代表者に書かせる時間をどこで取るのか。子供たちを待たせてしまう時間が多かったと思いました。
- ・まとめの仕方がうまくいかなかった。



### 〈参観者から〉

- ・「見通しを持つ」段階でたくさん出ていてよかったと思う。
- ・0, 1が18個と考えた児童もいたが、数直線に表すことが難しそうだった。
- ・位取りで考えた児童もいた。数直線は違っていたので残念でした。
- ・「習ったことを使って」と言っていないので、「0,  $1 \times 18$ 」が出てきたのではないかと。間違っているわけではないので、その子の扱い方が難しいかも…。
- ・見通しを持つ段階の説明がしっかりしていたので、自力解決で自分の考えをすらすらと書き始める児童

が多かった。

- ・ペア学習を始める前の説明（紙の置き方、指さし確認、相互評価等）が分かりやすかった。
- ・ペア学習では一生懸命説明していた。
- ・児童から、発表者への「自信を持って！」がよかった。
- ・全体発表で、教師が意図していたものすべてが出たのがよかった。
- ・残り5分で適応問題に入ることができた。
- ・適応問題の4つの中から1つ選んで数直線に書くのは難しいもの含まれていたように思う。
- ・4つのうち、どの問題に取り組んだのか分かるような記入スペースが欲しかった。
- ・どの問題をやったのか挙手させる方法もあったかも…。

### 【課題のリレー】

(有効・・・○ 課題・・・●)

○「見通しを持つ」から「自力解決」へのつながり。

○ペア学習での相互評価

●児童から学習した中から、キーワードとなる言葉を出させて教師が文章を作る。

次回の研究授業は…

古城小学校の各学年部、全校授業のラストを飾る…

12月17日(火) なかよし学級1組2組合同 庄子先生 葛西先生

## 「買い物ごっこをしよう」

みんなで見合って研修を深めましょう。